

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の効果検証シート

交付金充当額	事業費総額
529,091,000	581,453,161

実施計画No	事業名	担当	総事業費(円)	交付金充当額(円)	事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証
							①アウトプット(事業の実施結果) ②アウトカム(事業実施による効果) ③事業実施上の課題・今後の方向性
1	山都町元気回復プロジェクト補助金	商工観光係	4,519,000	4,100,000	R2.6.19	R3.3.31	①新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、特に大きな影響を受けている町内事業所に対し、売り上げを確保する取り組みを応援するため、必要経費の補助を行った。 ②各事業所の必要経費を補助し、今後の事業継続の手助け・応援を行うことができた。 ③今後も、商店街や事業所向けに継続して実施したい。
2	しごと応援給付金	商工観光係	35,800,000	32,000,000	R2.5.28	R3.3.31	①売り上げが減少している事業所に対して給付金を支給した 10万円×358事業所 ②コロナ対策に苦慮する事業者に対して給付金を交付することで、コロナ禍における事業継続に効果があり、休業・廃業を抑えることができた。 ③事業規模に応じた給付金の算定方法について検討の必要がある。今後も事業継続の状況等について注視していく。
3	山都町失業者支援事業	商工観光係	5,640,000	5,600,000	R2.6.4	R2.8.6	①コロナ禍を原因とする失業者に対して給付金を支給した 12万円×47人 ②コロナ禍を原因とする失業者に対して給付金を交付することで、生活支援や再起の後押しをすることができた。 ③今後もコロナ禍の失業者の状況等について注視していく。
4	消費喚起・地域経済回復支援事業	商工観光係	44,998,549	44,900,000	R2.5.26	R3.2.18	①売り上げが減少している飲食店を支援するため、商品券を全町民に対して配布した ②飲食店、タクシー、運転代行に利用できる商品券を配布。使用率は91%を超え、外出自粛で大きな影響を受けた事業所の事業継続に効果があり、休業・廃業を抑えることができた。 ③今後も事業継続の状況等について注視していく。

実施計画No	事業名	担当	総事業費(円)	交付金充当額(円)	事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証 ①アウトプット(事業の実施結果) ②アウトカム(事業実施による効果) ③事業実施上の課題・今後の方向性
5	防災活動支援事業	防災係	38,206,208	37,135,208	R2.11.15	R3.3.31	<p>①主要14箇所の指定避難施設、及び61箇所の指定緊急避難施設に感染防止用の備品、消耗品を購入し、孤立集落になる可能性がある7地域に備蓄倉庫を設置した。</p> <p>主な購入品</p> <p>【避難所用備品】 個室型テント・大型扇風機・石油ストーブ・スポットエアコン 各14台 バッテリー100個 屋外用プライベートテント 自動ラップ式トイレ・発電機 各6台</p> <p>【孤立危険箇所備蓄倉庫設置】 備蓄倉庫 7箇所</p> <p>【廃校舎跡備蓄保管スペース整備用備品】 収納棚 17台 台車 2台 アルミ製ローラーコンベア 10本 ボード用荷揚機 1台</p> <p>【避難所用消耗品】 非接触式体温検知器 5台 段ボールベット 310組 難燃性不織布毛布330枚 災害備蓄マット</p> <p>【避難所用衛生用品】 手指消毒用アルコール280本 除菌シート 280個 フェイスシールド400枚 使い切り手袋 200枚</p> <p>②避難所において想定される感染リスクを回避するため、衛生用品の備蓄やソーシャルディスタンスを確保するための備品を備蓄した。また、購入した備品等を適切に保管するための施設として、廃校となった小学校を活用し、保管に必要な備品を整備することにより、衛生的な環境での管理が可能となった。なお、遠隔地(災害発生時に孤立集落となる可能性が高い地域)においては、個別に衛生用品を保管することにより、全住民に対し避難所での衛生的な対応が可能となった。</p> <p>結果、避難所を発生源とするクラスターを防止する事が出来、住民の避難所利用敬遠を避ける事が出来た。</p> <p>③保管・管理体制を明確化し、優先順位を付け、購入品を最大限に有効活用して行きたい。</p>
6	小中学校エアコン設置	学校教育係	47,164,663	27,409,681	R2.6.25	R3.6.30	<p>①全校普通教室へのエアコン設置完了 ②4月休校に伴う8月中の代替授業実施ができた。 ③使用ルールの設定、電気代増加</p>
7	学校保健特別対策事業費補助金(感染対策のためのマスク等購入支援事業に限る)	学校教育係	286,000	143,000	R2.8.14	R3.3.25	<p>①全児童生徒へのマスク配布 ②学校内での集団感染なし ③なし</p>
9	小中学校ALT配置	学校教育係	5,227,464	5,227,464	R2.9.28	R3.3.25	<p>①委託によるALT配置 ②コロナで来日できなかったJET参加者に代わってALTを配置したことで、授業計画を変更することなく授業を行うことができた。 ③来日再開後、JETでの派遣を再開。</p>
10	学校保健特別対策事業費補助金(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業に限る)	学校教育係	8,945,895	4,473,895	R2.9.29	R3.3.25	<p>①アルコール等感染症対策用品の各校設置 ②学校内での集団感染なし ③購入予算の確保</p>

実施計画No	事業名	担当	総事業費(円)	交付金充当額(円)	事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証 ①アウトプット(事業の実施結果) ②アウトカム(事業実施による効果) ③事業実施上の課題・今後の方向性
11	医療機関等への新型コロナウイルス感染症対策支援	健康づくり係	3,500,000	3,500,000	R2.12.4	R3.3.18	①病院 500,000円×3箇所、医院・クリニック250,000円×4箇所、歯科医院200,000円×5箇所 ②各医療機関・歯科医院毎の感染症対策物品を購入し感染拡大防止に努められたため、平時の診療がストップすることは無かった。 ③要綱の作成に時間を要し、事業開始時期が遅くなった。
12	病院事業会計繰出金	健康づくり係	680,000	680,000	R2.12.25	R3.1.7	①病院 500,000円×1箇所、へき地診療所 60,000円×3箇所 ②感染症対策物品を購入し感染拡大防止に努められたため、平時の診療がストップすることは無かった。 ③事業開始時期が遅くなった。
13	児童福祉・障害者福祉・介護福祉施設従事者支援事業	福祉係	8,472,000	8,472,000	R2.12.8	R3.3.4	①コロナ禍の中、町民生活に不可欠なサービスを提供している児童施設、障害者施設、介護福祉施設従事者に慰労金(8,000円)を給付した。 支援金:従事者1,059名×8,000円 また保育施設については、施設に感染防止費用として200千円を支給した。5園×200千円 ②コロナ禍の中、感染の拡大防止に努めながら業務を実施するエッセンシャルワーカーの方々に慰労することで、日常の業務が止まることなく事業が実施できた。保育施設も感染防止を徹底することで、クラスター発生を0に抑制できた。 ③あらゆる感染症の発生により今後起こりうる事態に対応するため、生活に欠くことのできないサービスを提供している施設や従業員等の状況をきめ細かく把握していく。
14	指定避難所、福祉避難所施設改修(蘇陽地区)	蘇陽支所	29,952,519	29,952,519	R2.9.18	R3.3.26	①指定避難所、福祉避難所として町が指定する蘇陽総合行政センターにおいて雨漏りが発生しており避難所として使用できなかったことから防水改修工事を行った。 営農ホール周辺防水改修工事 一式 ②雨漏りが解消され、避難所として使用できるスペースが増えたことによりソーシャルディスタンスが確保され、クラスター発生を防止することができた。 ③定期的な点検及び適宜修繕を行い長期的に維持できるよう管理を行っていく。
15	指定避難所、福祉避難所施設改修(矢部地区)	健康づくり係	62,537,696	62,537,696	R2.9.10	R3.7.30	①ロールカーテン取付 379,500円、空調設備改修工事62,158,196円 ②空調改修工事を行ったことで、避難所として暑さ寒さに対応できるようになった。感染予防のため距離を開けて避難させる必要があり、ロールスクリーンを設置した廊下も避難スペースとして利用できるようになったため、収容人数が増加した。 ③定期的な点検および管理を行う
16	民生委員・児童委員活動支援	福祉係	631,667	631,667	R2.11.1	R3.3.31	①コロナ禍の中、避難行動要支援者(高齢者等)の状況を確認するための感染症予防用品、確認のための用品等を民生委員に配布し、調査を実施した。 ②コロナ禍の中、感染予防のため自粛していた訪問活動も復活し、名簿登録者4,136名の調査が実施でき、避難行動要支援者の状況の確認はもとより見守りを実施することで地域のつながり強化につながった。 ③今後も避難行動要支援者の見守り活動を強化していく。
17	放課後児童クラブ施設改修	福祉係	2,376,769	2,376,769	R2.12.1	R3.2.10	①施設内の使用できない場所(床改修)の改修を実施した。 ②集会室の改修を実施することでスペースに余裕ができ、三密防止につながり、クラスター発生を0に抑えることができた。 ③あらゆる感染症防止のため、環境面、施設面等きめ細かく学童施設の状況を把握していく。
18	町立保育園設備改修	福祉係	1,448,474	1,448,474	R2.11.28	R3.2.8	①公立園5園の洗面台等の自動化(コロナ対策)を実施した。 ②非接触化を図ることで、感染リスクの低減に繋がり、クラスター発生を0に抑えることができた。 ③あらゆる感染症防止のため、環境面、施設面等きめ細かく施設の状況を把握していく。

実施計画No	事業名	担当	総事業費(円)	交付金充当額(円)	事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証 ①アウトプット(事業の実施結果) ②アウトカム(事業実施による効果) ③事業実施上の課題・今後の方向性
19	子育て支援施設へのプレハブ倉庫設置	福祉係	226,820	226,820	R2.9.30	R2.10.29	①三密防止のため、施設内の収納場所を新たに設けた。 ②収納場所を設けたことで保育室内で保管した用具を移し替えることができ、保育スペースに余裕が生まれ、三密防止に繋がりを、クラスター発生を0に抑えることができた。 ③収納場所を効率的に利用し、保育室を有効に活用していく。
20	飲食店等の感染防止対策等	商工観光係	6,624,570	4,635,570	R2.10.26	R3.3.11	①感染防止アドバイザーの派遣・事業所の感染症対策に対して補助金を支給。 ②アドバイザーが感染防止対策を指導し、対象事業者における感染対策の強化を図ることができた。事業者の衛生設備の整備に繋がった。 ③今後も、感染防止対策について指導を継続していく必要がある。
21	山の都地域しごとセンター感染症対策	山の都づくり推進室	212,707	106,707	R2.10.2	R3.3.11	①山の都地域しごとセンターの感染対策の備品・消耗品を配備した。 パソコン1台、Webカメラ、ヘッドセット、マスク、消毒液、パネル等 ②オンラインでの移住相談等にも対応でき、来場者に対しても感染対策が十分に実施できた。 ③今後は備品の適正な管理に努める。
22	繁殖牛導入助成金	農政係	4,050,000	4,050,000	R2.9.1	R3.3.31	①繁殖を目的とした育成雌牛を令和2年度に導入(自家保留含む)した畜産農家に補助金を交付した。 25,000円×162頭 ②コロナ感染拡大の影響で子牛価格が低迷する畜産農家に対して補助金を交付することでコロナ禍における廃業を0に抑えることができた。 畜産農家からは「繁殖に必要な雌牛の導入資金に充てることができ非常に助かった」との声があった。 ③市場価格に応じた単価の設定等について検討の必要がある。今後も事業継続の状況等について注視していく。
23	農業継続支援助成金	農政係	6,898,000	6,898,000	R2.11.5	R3.3.31	①農業経営者70名に対して補助金を交付した(対象経費の3/10上限10万円)。 10万円×68名、67,000円×1名、31,000円×1名 ②コロナ感染拡大の影響で前年度と比較して収入が減少した経営者に対して補助金を交付することで、コロナ禍における廃業を0に抑えることができた。 対象事業者からは「経営継続に必要な資機材の購入資金に充てることができ非常に助かった」との声があった。 ③農作物の価格及び農業肥料や農薬、資機材の高騰に注視していく必要がある。
24	道の駅農産物出荷継続支援助成金	農政係	1,554,800	1,554,800	R2.9.1	R3.3.31	①道の駅に出荷していた農業経営者95名に対して補助金を交付した。 (平成31年4月～令和元年5月(前年)における道の駅の売上の1/2上限25,000円) 95名(最少額2,100円～25,000円) ②コロナ対策の休業要請に応じた道の駅に出荷する経営者に対して補助金を交付することで、休業要請解除後も出荷を継続することができた。 対象事業者からは「出荷を継続することができ非常に助かった」との声があった。 ③出荷量に応じた補助金の上限について検討の必要がある。今後も事業継続の状況等について注視していく。
25	民間交通事業者コロナウイルス対策事業補助金	企画係	547,000	391,000	R2.11.4	R3.3.31	①タクシー事業者及び貸切バス事業者に対し、車内での感染防止対策用備品購入に係る補助金を交付した。 タクシー事業者4者 16台 312,000円 貸切バス事業者1者 11台 235,000円 ②タクシーや貸切バスの車内での感染対策強化を図ることができ、車内でのクラスター発生件数を0に抑えることができた。 ③タクシーや貸切バス以外の事業者(運転代行事業者)への支援についても今後検討する必要がある。また、移動需要が激減しているため、継続した支援が必要である。

実施計画No	事業名	担当	総事業費(円)	交付金充当額(円)	事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証 ①アウトプット(事業の実施結果) ②アウトカム(事業実施による効果) ③事業実施上の課題・今後の方向性
26	子育て世帯定額給付金	福祉係	5,600,000	5,600,000	R2.11.25	R3.4.22	①国の給付金事業(コロナ関連)の対象とならなかった新生児に対し給付金をした。R2.4.28～R3.3.31出生56名×10万円 ②コロナ禍による厳しい経済状況の中、子育て世帯(新生児)に対する経済的支援を実施することができた。 ③コロナ禍中の子育て世帯へ経済的支援以外にもあらゆる子育てサービスを充実していく。(乳幼児訪問、子育て支援センター事業など)
27	山都町応援商品券発行事業	商工観光係	76,797,768	76,797,768	R2.9.6	R3.3.31	①町内の地域経済活性化のため、商品券を全町民に対して配布した ②商品券の使用率は97%を超え、外出自粛で大きな影響を受けた事業所の事業継続に効果があり、町内経済の活性化に大きく貢献できた。 ③配布に係る事務作業の負担が大きい、効果も大きい。今後も町内の経済状況等について注視していく。
30	山都町ふるさと特産品需要拡大キャンペーン	商工観光係	1,332,430	1,332,430	R2.10.23	R3.3.31	①町内の宿泊施設の利用者のうち、抽選による151人に対して、町の特産物を送付する事業を実施した ②町内宿泊者を呼び戻すことと、地域特産物の消費拡大に大変有効であった。 ③事業が終了した後のリピーターの確保が課題。
31	移住定住支援事業	山の都づくり推進室	2,202,000	1,101,000	R2.10.23	R3.3.31	①住宅取得(賃借)の要因が新型コロナウイルス感染症に起因すると認められる者に対し、改修補助金(対象経費の3/4、上限75万円。)を交付した。(3件) ②不安をできる限り排除することで、移住の促進が図られた。 ③今後は交付要件(コロナ起因)の整理が必要。
32	新型コロナ下における分散勤務ネットワーク環境整備	情報係	10,223,125	10,223,125	R3.2.25	R3.7.13	①感染防止対策を施すため庁舎、関係施設での分散業務が実施できるよう以下のとおり整備した。 ・分散業務用行政ネットワーク・Wi-Fi整備工事 5,554,890円 ・分散業務用ネットワーク設定業務 1,708,575円 ・分散業務用パソコン及びプリンター購入 2,959,660円 ②今回の環境整備により、コロナ蔓延による緊急事態宣言においても新型コロナ感染症のクラスター発生を抑えることができ、住民サービスを継続することができた。 ③運用管理体制を明確にしておく必要があり、備品の保守や在庫管理を行っていく。
33	GIGAスクール構想支援事業	学校教育係	36,908,546	36,905,080	R2.11.11	R3.4.30	①1人1台端末用遠隔授業環境の整備 ②休校はなかったが、校内での遠隔授業等を実施できた。 ③学校・家庭での活用推進
34	図書館パワーアップ事業	生涯学習係	1,806,090	1,306,090	R2.11.26	R3.3.19	①図書館独自のホームページを開設し、蔵書検索、データによる情報資料の公開を可能とした。 ②図書館での滞在時間の短縮が図られ、感染拡大防止に繋がった。 利用者からも、図書館に来館することなく情報資料の閲覧ができることから便利になったとの声が多くあった。 ③ホームページの閲覧者が増えるよう、内容の充実を図る。
35	公共施設予約システム導入	生涯学習係	4,340,886	3,340,886	R2.11.2	R3.3.23	①公共施設の予約を対面で行っていたため、少しでも接触機会を減らすため、公共予約システムを導入した。 ②スマホ等で予約ができるため、役場に来庁する必要がなくなった。また、利用者からも予約のために役場に行く必要がなくなり便利になったとの声が多くあった。 ③利用者から細かい要望もあっており、随時対応して行きたい。
36	小中学校トイレ改修(洋式化)工事	学校教育係	41,690,000	36,402,000	R3.3.16	R3.7.31	①校舎内トイレの7割程度を洋式化。和式トイレを蓋つきの洋式トイレにすることで飛沫拡散防止の効果が期待され、新型コロナウイルス感染症等の予防が図られた。 ②学校内での集団感染なし ③なし

実施計画No	事業名	担当	総事業費(円)	交付金充当額(円)	事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証 ①アウトプット(事業の実施結果) ②アウトカム(事業実施による効果) ③事業実施上の課題・今後の方向性
37	矢部小学校体育館入口階段整備(避難所)	学校教育係	792,000	792,000	R3.2.19	R3.3.18	①指定避難所である矢部中学校体育館入口階段の改修 ②体育館を避難所として地域住民等が利用する場合、普段の学校生活では使う機会の少ない校舎と繋がっていない入口を使用するため、密集と混雑解消のために階段を改修したことで、安全に昇降が可能となった。 ③なし
38	修学旅行の日程変更等に係る追加費用の支援	学校教育係	70,800	45,800	R2.12.1	R3.3.31	①修学旅行の日程が変更となったことにより発生したキャンセル料金に対して3校に補助金を交付 ②保護者の経済的な負担軽減 ③計画的な修学旅行の実施
39	町議会タブレット端末導入事業	議会事務局	6,783,190	6,783,190	R2.12.1	R3.3.31	①タブレット端末購入 12.9インチiPadPro38台購入後 議員14名、議会事務局職員3名、執行部21名へ整備した。 ②・議会においては、研修会、会議の際に自宅での会議参加が可能となり、非対面とすることで、コロナ禍において感染拡大を防ぐことができた。 ・議会事務局職員と議員との連絡・通知をオンラインで行うことができ、接触の機会を減らすことができた。 ・執行部においては、コロナ禍での人との接触を減らすための分散業務において、活用ができた。さらに、中山間地で面積の広い本町において、役場の本庁、支所間をタブレットをオンラインでつなぐことにより、リモート会議を実現し、密集・密接を防ぐことができた。 ・情報の収集を場所を問わず、自宅でも行うことができた。 ③管理体制を明確にしておく必要がある。今後、保守の面において、行き届いた管理が必要となってくる。
40	マスクを活用した観光振興事業	商工観光係	273,750	273,750	R2.11.17	R3.1.7	①感染防止対策と観光振興を兼ねたマスクを配備した。 ロゴ入りマスク 1,000枚 ②アメリカ大統領と山都町長の名前読みが同じで、ネットで話題となったことを捉え、感染防止と山都町を全国に発信するため、ロゴ入りマスクを、トップセールス用に制作した。多くの方にPRすることができた。 ③感染防止と観光振興を兼ね備えた事業は今後も行っていく。
43	感染症対策避難所整備事業(駐車場)	健康づくり係	9,118,131	6,356,000	R2.12.23	R3.6.11	①千寿苑駐車場舗装工事費 9,118,131円 ②芝生駐車場であった部分をアスファルト舗装し、駐車スペースが拡大し、水はけも改善された。今まで車を降りてから足元がずぶ濡れになりながら歩かないといけなかったのが、濡れなくなったと感想あり。 ③なし
44	社会教育施設感染対策事業	生涯学習係	585,948	512,948	R2.12.14	R3.3.9	①不特定多数の住民が利用する社会教育施設における感染予防対策を図るため、足ふみポンプ、ボール型体温測定器を購入した。 ②施設利用者の感染対策を図ることができた ③保管、管理体制を明確にする
46	蘇陽総合行政センター安全・安心確保事業	蘇陽支所	18,568,000	15,500,000	R2.12.21	R3.7.30	①当施設において、換気機能の低下や稼働しない設備があったことから換気設備の更新を行った。 換気設備更新工事 一式 工事設計・監理 一式 ②換気設備の更新により施設内の換気機能が向上したことから、クラスター発生を防止することができた。 ③定期的な点検及び適宜修繕を行い長期的に維持できるような管理を行っていく。

実施 計画 No	事業名	担当	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	事業開始 年月日	事業完了 年月日	効果検証
							①アウトプット(事業の実施結果) ②アウトカム(事業実施による効果) ③事業実施上の課題・今後の方向性
47	鳥獣加工処理施設改修	林政係	3,758,322	1,650,000	R2.12.14	R3.6.1	<p>①ジビエ工房やまとの作業員の感染防止対策のため、プレハブ冷凍庫の増設と庫内レール設置をし、安全な導線を確保した。 プレハブ冷凍庫本体 1台 庫内レール 一式</p> <p>②施設作業員における感染対策の強化を図ることができ、ジビエ工房やまとのクラスター発生を0に抑えることができた。また、インシヤシカを持ち込まれる猟師も利用されることから、地域住民から「安心して利用できる」との声があった。</p> <p>③保管・管理体制を明確にしておく必要がある。今後、備品の保守や在庫管理を行っていく。</p>
48	子ども・子育て支援交付金	福祉係	1,656,784	552,784	R2.11.27	R2.12.27	<p>①コロナ禍の中、小学校閉鎖期間における学童保育の午前中開放に伴う人件費及び利用料の支給を実施した。</p> <p>②7つの学童保育実施団体や保護者の経済的負担を軽減し、円滑な事業運営ができた。</p> <p>③児童の居場所づくりや休校中の受け皿として機能した。</p>
49	観光パンフレット(紙・デジタル)制作事業	商工観光係	4,906,000	2,453,000	R2.12.14	R4.3.24	<p>①観光パンフレット・ポスターを制作した。 パンフレット 25,000部(デジタル版含) ポスター 200枚(デジタル版)</p> <p>②対面によらない、コロナ禍における観光PRにデジタル版のパンフレットを活用した。従前の紙版も各観光施設に配布し、PRに役立てた。</p> <p>③今後在庫管理を行っていく。</p>
50	公立学校情報機器整備費補助金	学校教育係	139,590	70,590	R2.12.2	R3.3.11	<p>①webカメラ・ヘッドセットの購入(遠隔授業用)</p> <p>②休校はなかったが、校内での遠隔授業等を実施できた。</p> <p>③学校での活用促進</p>
53	山都町事業継続支援給付金	商工観光係	33,399,000	32,641,289	R3.3.24	R3.11.18	<p>①熊本県独自の緊急事態宣言に伴う飲食店に対する時短営業の要請又は不要不急の外出・移動の自粛の要請による影響のため、売り上げが特に減少した町内の事業者等に対して、事業の継続を下支えし、再起の糧としてもらうため、給付金を支給した。</p> <p>②1事業者当たり10万円を限度として事業全般に広く使うことができる給付金を支給できた。</p> <p>③今後も、国・県の制限があれば商店街や事業所向けに継続して実施したい。</p>